

問1 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問2 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業 2. 繊維工業 3. 鉄鋼業 4. 先端技術産業

問3 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業 2. 機械工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業

問4 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 水力発電 4. 太陽光発電

問5 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？

1. 遠洋漁業 2. 栽培漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖業

問6 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料 2. 再生可能エネルギー 3. 原子力発電 4. 火力発電

問7 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

1. 輸出拡大 2. 輸入制限 3. 委託生産 4. 現地生産

問8 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせる手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 沖合漁業 3. 養殖業 4. 遠洋漁業

問9 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？

1. 造船業 2. 製鉄業 3. 鉄鋼業 4. 綿工業

問10 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業 2. サービス業 3. 運輸業 4. 建設業

問11 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問12 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

1. 施設園芸農業 2. 酪農 3. 畑作 4. 稲作

問13 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業 2. 施設園芸農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問14 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？

1. 群馬県 2. 長野県 3. 北海道 4. 高知県

問15 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？

1. ホタテガイ 2. ブリ 3. サケ 4. マダイ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いので、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問2	答え 4 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問3	答え 3 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問4	答え 3 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問5	答え 4 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問6	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問7	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問8	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問9	答え 4 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問10	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問11	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問12	答え 1 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。
問13	答え 4 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問14	答え 4 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。
問15	答え 4 マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。